

令和5年中の火災・救急・救助件数について(速報値)

四日市市消防本部

令和5年1月1日～令和5年12月31日までの1年間に四日市市消防本部管内(四日市市、三重郡朝日町及び川越町)で発生した火災・救急・救助件数は次のとおりです。

- 火災発生件数 84件(昨年より+5件)
- 救急出動件数 17,602件(昨年より+567件)
- 救助出動件数 120件(昨年より-35件)

1 火災発生状況

(1) 火災発生概要

令和5年中の火災は84件で、前年の79件と比較して5件の増加となりました。

令和5年中の火災種別では、「建物」と「その他」火災が36件で全体の(42.9%)で最も多くなりました。「建物」火災の内、住宅(共同住宅等を含む)が、15件で前年の20件より5件減少となりました。

次いで、「車両」火災は8件(9.6%)、「林野」火災は3件(3.6%)、「船舶」火災は1件(1.2%)となりました。

月別発生状況は、3月が20件と最も多く火災が発生しています。一方、11月は火災が発生しませんでした。

過去5年間の火災発生件数

種別	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
建物	60	50	37	42	36
車両	8	11	12	10	8
船舶	1	0	0	0	1
林野	3	1	1	0	3
その他	20	28	24	27	36
計	92	90	74	79	84

※「その他」とは「枯草、ごみ集積場などの火災」等

(2) 出火原因

出火原因は、「たばこ」と「放火」（放火の疑いを含む。以下同じ）が15件で、第1位となっています。次いで「たき火」が10件、「こんろ」と「火入れ」が4件となっています。

過去5年間の主な火災原因

年別	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1位	放火 14件	放火 17件	放火 9件	たばこ 10件	たばこ 放火 15件
2位	たばこ 9件	たき火 8件	たき火 6件	こんろ 9件	
3位	たき火 8件	たばこ 7件	たばこ こんろ ストーブ 5件	放火 8件	たき火 10件

(3) 火災による死者

火災による死者は、2名発生し、前年と同様となっています。

(4) 火災による負傷者

火災による負傷者は、8名発生し、前年より2名の減少となっています。

(5) 火災による損害

火災による損害は、火災件数が5件増加し、損害額も増加する見込みです。

過去5年間の損害額（千円）

年別	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
損害額	481,993	290,017	114,536	84,387	未確定



2 救急出動状況

令和5年中の出動件数は17,602件で、前年の17,035件と比較して567件の増加となりました。

増加した要因としては、1月に新型コロナウイルス感染症第8波の影響により、救急要請が増加したことが大きなものと思われます。また、日常生活が戻る中、全体的に救急要請が増加したものと思われます。

事故種別では、「急病」が12,040件(68.4%)で最も多く、次いで「一般負傷」が2,695件(15.3%)、「転院搬送」が1,132件(6.4%)、「交通事故」が1,109件(6.3%)となっています。なお、「急病」は、昭和47年以降から毎年連続して事故種別の第1位となっています。

過去5年間の救急出動件数

種別	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
急病	10,389 (66.7)	8,975 (66.0)	9,701 (67.3)	11,755 (69.0)	12,040 (68.4)
交通事故	1,259 (8.1)	1,103 (8.1)	1,058 (7.3)	1,121 (6.6)	1,109 (6.3)
一般負傷	2,126 (13.6)	1,990 (14.6)	2,025 (14.1)	2,296 (13.5)	2,695 (15.3)
転院搬送	1,127 (7.2)	965 (7.1)	1,044 (7.2)	1,216 (7.1)	1,132 (6.4)
自損行為	124 (0.8)	128 (0.9)	113 (0.8)	142 (0.8)	122 (0.7)
労働災害	171 (1.1)	131 (1.0)	155 (1.1)	184 (1.1)	165 (0.9)
加害	68 (0.4)	65 (0.5)	55 (0.4)	64 (0.4)	51 (0.3)
運動競技	124 (0.8)	85 (0.6)	99 (0.7)	107 (0.6)	137 (0.8)
その他	197 (1.3)	161 (1.2)	159 (1.1)	150 (0.9)	151 (0.9)
計	15,585	13,603	14,409	17,035	17,602

※ () 内の数字はその年の出動件数に占める比率(小数点第2位を四捨五入)

※ 「その他」とは「火災」「水難」「医師搬送」「資器材搬送」等



3 救助出動状況

令和5年中の出動件数は120件で、前年と比較して35件の減少となりました。

事故種別の内訳としては、「建物事故」が45件（37.5%）と最も多く、次いで「交通事故」が38件（31.7%）、「その他」が21件（17.5%）、「水難事故」が6件（5.0%）、「火災」「機械事故」が5件（4.2%）と続いています。

過去5年間の救助出動件数

種別	平成31年 ／令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
交通事故	57	50	54	48	38
建物事故	44	52	67	46	45
水難事故	6	7	9	9	6
火災	4	1	4	6	5
機械事故	1	0	3	4	5
その他	19	20	26	42	21
計	131	130	163	155	120

※「その他」とは、河川敷等への転落、車内への閉じ込め、ガス酸欠事故等

